

# 1・2・スマイル



第1・2学年通信

平成26年  
5月12日

## 家庭学習の手引き(保護者用)

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとても大切なものです。

小学校のうちに身につけた“机に向かう習慣”が、後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身につくようにしたいものです。

### 1. 家庭学習のさせ方

- ① 学校からでる「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間があまったら、市販の問題集や通信の教材、先日配付した「家庭学習の手引き」の中から選んでさせて下さい。
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、興味・関心のある学習から始めるなどして、なるべく机に向かわせてください。とにかく「机に向かう」という習慣が大切です。
- ④ 勉強が終わったら『かていがくしゅうのきろく』をつけさせてください。
- ⑤ 次の日の準備をさせてください。

2. 時間のめやす (学年) × 10分 + 10分 = 30分

### 3. 家庭学習における保護者の役割

#### ① 学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

#### ② 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強しても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

#### ③ 見届け・励ます

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。ほめたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。1週間に1回は、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

#### ④ 学校との連携

お子さんの学習のことでご心配なことがありましたら、担任にお知らせください。